



ナウミン

浜松市博物館情報



シジ丸

Hamamatsu City History Museum News

2023.6.15

No.356

浜松城下の町のすがた

現在の浜松の中心街を通過し、「板屋町」や「旅籠町」等の町名を目にすることがあります。これらの町名は江戸時代に描かれた絵図においても確認できるものです。

江戸時代の浜松は、二つの性格をもった都市でした。一つ目は浜松城の城下町としての性格、そして二つ目は東海道の宿場町としての性格です。

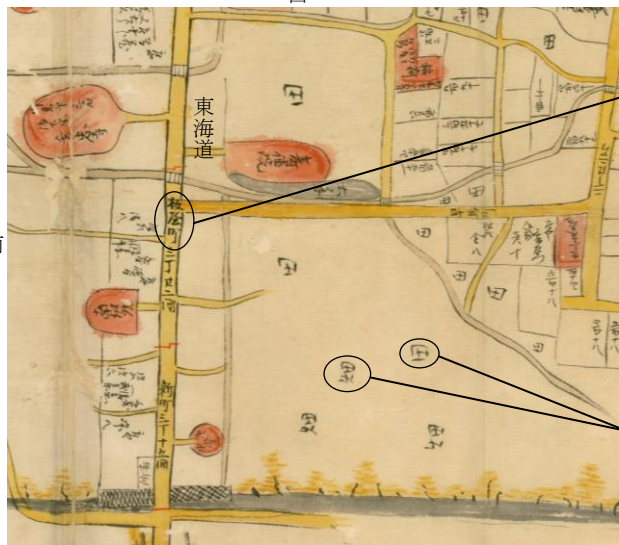
城下町としての性格については、「大工町」や「鍛冶町」等職人名を冠した町名があるように、城主にとって必要な物資や職人を編成して、城下に集住させた痕跡があることからもうかがえます。

宿場町としての性格については、人馬の宿継に関わる「伝馬町」や街道を旅する人が宿泊する旅籠に関わる「旅籠町」等の町名からもうかがえます。

浜松市博物館の収蔵品の中に浜松城の城下町を描いた「遠州浜松城下絵図」があります。この絵図を見れば城下に東海道をはじめとした道路が描かれています。そして、それらの道路の中に町名が記されています。なぜ道路の中に町名が記されているのでしょうか。実は道路を挟んで向かい合っし両側が共同体としての一つの町を構成してしまっ

そのため、道路の中に町名が記されていると考えられます。この町のかたちは現在出版されている地図をみても確認できます。

また、道路の脇に「庄屋」・「年寄」・「組頭」という記載とその職を務める人の名もみることが出来ます。これらは町役人の職名です。町役人は各町内の事務を取り切り、領主に対して窓口となる職務を行っていたと考えられます。本絵図は城下のかたちだけで



遠州浜松城下絵図 (部分に一部加工)

なく、そこに生活をjする人についての情報も得ることが出来ます。

さらに、絵図をみていくと、町の裏手に「田」や「畑」という記載があります。城下町という都市の中の町のすぐ裏手に田や畑という農村的要素があったことがわかります。江戸時代の浜松は、新たな町が開発されて都市域が拡大するというような、都市的な発展はあまりなかったようです。

ここまで、江戸時代の浜松についてご紹介をしてきましたが、実はまだ浜松についてはよくわからないことが多いのも事実です。その理由としては、浜松を知る手がかりとなる古文書が非常に少ないことが挙げられます。当時の人々がどのように生活し、どのような社会があったのかを知るためには古文書を読み解くことが必要なのですが、浜松の場合は、最後の浜松城主が移封してしまったこと、第二次世界大戦による戦災や火災等により多くの古文書が失われてしまっています。そのため、手がかりが非常に少なくなっているのです。

もし、江戸時代の浜松に関わる古文書をお持ちの場合はぜひ浜松市博物館までお知らせください。もしかしたら新たに江戸時代の浜松の様子がわかる発見につながるかもしれません。

★「遠州浜松城下絵図」は浜松市文化遺産デジタルアーカイブ(浜松市立図書館ホームページ)でご覧いただけます。

【博物館所蔵資料の紹介】

「私たちの一日」

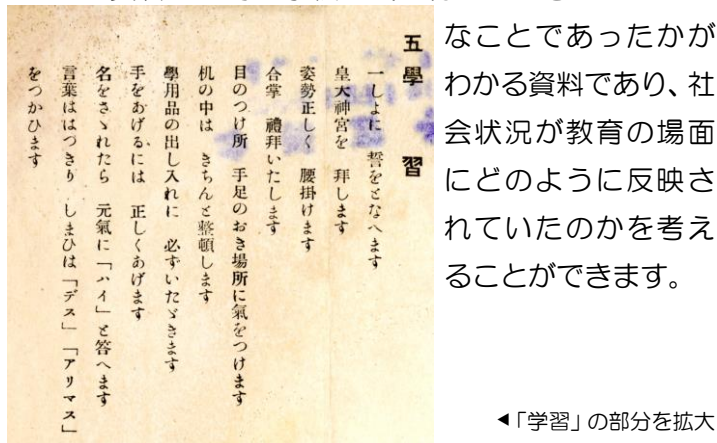


これは浜松蒲尋常高等小学校で作成されたと考えられる資料で、学校生活での気を付けるべきことが記されています。年代は記されていませんが、関連資料の年代からみて昭和十年代半ばのものだと推定されます。

中身を見てみると朝、登校等場面ごとに気を付けるべきことが記されています。朝は「起されたら一声で起きます」、「朝仕事を一つします」、登校では「身なりをきちんとしてゝのへます」、「胸をはつてさつさと歩きます」とあります。学校に到着した後の学習では、「姿勢正しく腰掛けます」、「言葉ははつきりしまひは「デス」「アリマス」をつかひます」ということが記されています。昼食では「よい日本人になるために「イタベキマス」、「弁当箱へは一粒も残しません」というものもあります。下校では「道草くはずにさつさと帰ります」、帰宅してからは「おさらひ宿題をすぐします」とあります。

また、当時の状況を反映するものとしては、「まごゝろこめて宮城を遥拝いたします」、「つゝしんで御製を奉誦いたします」、「兵隊さんは食べられない時があります」、「戦地の兵隊さんにお礼の黙禱いたします」というものもあります。

この資料は当時の学校で気を付けるべきことがどん



なことであったかがわかる資料であり、社会状況が教育の場面にどのように反映されていたのかを考えることができます。

◀「学習」の部分拡大

催し物のご案内

★テーマ展 「家康伝承と浜松」

開催中～9月24日(日)

浜松の各地に残された、家康にまつわる「家康伝承」に焦点をあてて、後世の浜松の人々がもった家康に対するイメージについてご紹介します

☆ギャラリートーク

6月24日(土)・7月29日(土)

10:00から30分程度

★浜松城二の丸絵図(期間限定展示)

展示中～6月25日(日)

★小展示「家康ゆかりの地パネル展～中区編～」

開催中～令和6年1月8日(月)

★小展示「近年の発掘調査成果～原始・古代編～」

7月25日(火)～9月18日(月)

★火起こし体験

6月17日(土)

① 9:30～ ②10:15～ ③11:00～

「舞ぎり式」や「もみぎり式」、火打石で火を起こしてみよう

★夏休み体験館

8月11日(金)～21日(月)

*缶バッジ・クイズラリー：毎日

*縄文風網かごづくり：11、12日(事前申し込み)

*銅鏡風ミニ鏡づくり：13～15日(当日予約制)

*縄文マグネットづくり：16、17日

*まが玉づくり：18～21日(当日予約制)

*ガイドツアー：12～15、19、20日

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

7月8日(土)・8月12日(土)

14:00から30分程度

場所：蛸塚公園内旧高山家住宅

参加無料、事前申込不要



※各イベントの内容、定員、参加費などの詳細は、ホームページ、SNSでご確認ください。

※イベントは、変更、中止になる場合があります。

左から
ホームページ
ツイッター
インスタグラム



浜松市博物館 開館時間：9時～17時

〒432-8018 浜松市中区蛸塚四丁目22番1号

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

6～8月の休館日：6/19,26,28 7/3,10,18,24,26,31 8/7,28

電話：053-456-2208

FAX：053-456-2275

HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/